**大阪府における障がい者アート施策の今後の方向等について**

資料４

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | これまでの取組み | 主な成果（○）と課題（●） | 今後の方向性 |
| 公募展・企画展等（資料２） | ※現代アートとしての障がいのあるアーティストと魅力ある作品のほか、これらを支援する事業所の発掘・ネットワーク化が主な目的■７回の公募展を含む展覧会・企画展を実施（H21～）■平成30年度は、事業所との共同企画・運営により企画展を実施 | 〇障がい者理解の促進、発表の機会の提供、Capacious事業による支援の対象となる才能豊かなアーティストの発掘等につながった。●公募展に代わる発表の機会の確保　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など | ■公募展については、これまでの実績・経過等を踏まえ、支援対象とすべきアーティスト・事業所の発掘という観点や公募展そのものの効果も考慮して、複数年に一度の開催も視野に、そのあり方を検討していく。■事業所等独自の障がい者アートに関する取組みを支援　・通年で、府内各所で事業所等による展示が随時行われている環境づくりを進めることで、大阪府の都市魅力としての障がい者アートの定着を図る　・事業所等による独自の販売・２次利用の支援　・事業所等の交流・共同企画の促進　・障がい者の文化芸術活動を支援する人材の育成 |
| 作品販売等の支援（資料３） | ※才能あるアーティストの作品を現代アートの市場につなげることが主な目的■福祉基金を活用したモデル的取組みとして実施（H27～H29）■平成30年度からは、府施策として実施（Capacious展の実施、アートフェアへの出展、現代アートギャラリーへの営業活動等を通じ、アーティストの作品の販売支援を展開） | 〇13名のアーティストの発掘・支援につながった。○販売等支援の結果、高額取引されるアーティストも出現〇Capaciousの支援をきっかけとして、ギャラリストからの支援や２次利用に結びついたアーティストあり。●支援するアーティストが増えた場合の対応等　　　　　　　　　　　など | ■引き続き、これまでの取組みの成果や課題を踏まえて、アーティストの作品販売支援を府施策として推進 |